

言葉を学ぼう 文化を学ぼう

平成30年度

参加
無料

がくしゅうかい
楽習会

◆ 岐阜大学の先生が講師を務める公開講座 ◆

【開講時間】 14:00～15:30（開場13:30）

【会場】 岐阜県図書館 2階 研修室

【定員】 定員60名 予約不要



第1回	11月17日(土)	陶淵明の酒と死生観 好川聡准教授
第2回	12月15日(土)	『源氏物語』と紫式部 小川陽子准教授
第3回	12月22日(土)	実例で比較する英文法の「本当は…」と「でも実際は…」 飯田泰弘助教
第4回	1月12日(土)	作文に描かれた岐阜のまち 小林一貴准教授
第5回	2月23日(土)	世界の中の英語、英語の中の世界 仲潔准教授
第6回	3月9日(土)	岐阜県の方言、四方山話 山田敏弘教授

問い
合わせ
先

岐阜県図書館 企画課企画振興係
〒500-8368 岐阜市宇佐 4-2-1
電話 058-275-5111 FAX 058-275-5115
e-mail library@library.pref.gifu.jp

岐阜県図書館

検索



2018年度 楽習会の内容

第1回	<p>11月17日(土) 陶淵明の酒と死生観：好川聡准教授</p> <p>「桃花源記」でおなじみの陶淵明は、現代では唐以前の最大の詩人として評価され、様々な作品が読み継がれています。今回は、陶淵明文学の重要なテーマである死生観について、彼がこよなく愛した酒の詩と絡めて紹介したいと思います。</p>
第2回	<p>12月15日(土) 『源氏物語』と紫式部：小川陽子准教授</p> <p>今からちょうど10年前、〈『源氏物語』千年紀〉として、各地でさまざまなイベントが行われました。『源氏物語』が1008年にできたとわかるのはなぜでしょうか。作者が紫式部だとわかるのはなぜでしょうか。物語成立の舞台裏をのぞいてみたいと思います。</p>
第3回	<p>12月22日(土) 実例で比較する英文法の「本当は…」と「でも実際は…」：飯田泰弘助教</p> <p>日常生活で実際に使われる英語のなかには、学校で教わる英文法のルールを違反している（ように見える？）例が数多く存在します。そんな少し風変りな英語を、映画スクリプトや映像を使いながら観察し、英語の「理想と現実」の狭間をのぞいてみたいと思います。</p>
第4回	<p>1月12日(土) 作文に描かれた岐阜のまち：小林一貴准教授</p> <p>戦前、戦後の文集・雑誌に掲載された作文の中から、岐阜を描いた作品を取り上げます。作文の変化を見ながら、その時代を生きた子供のまなざしを通して岐阜のまちの移り変わりを読み解きます。</p>
第5回	<p>2月23日(土) 世界の中の英語、英語の中の世界：仲潔准教授</p> <p>英語の世界的普及は、英語一辺倒という状況と英語の多様化をもたらした。世界の多言語状況において英語はどのように捉えられているのか。多様化した英語は、どのような世界観を内包するのか。世界の中の英語、英語の中の世界を歴史的・言語的にお話しします。</p>
第6回	<p>3月9日(土) 岐阜県の方言、四方山話：山田敏弘教授</p> <p>「はんちくたい」や「ためらって」で知られる飛騨の方言は、ほんとうに、都の造成に関わった飛騨の匠が持って帰った言葉なの？ 美濃の方言は、尾張の方言と似ているけれど、どっちが先にできたの？ などなど、県民の皆さんから寄せられた岐阜県方言に対する疑問にお答えします。</p>

交通案内

- JR西岐阜駅より徒歩14分
- 西ぎふ・くるくるバス(大人100円/小学生50円)
JR西岐阜駅南口より乗車(約5分)「県図書館・美術館」下車すぐ
- 岐阜バス(有料)鏡島市橋線 市橋行
JR岐阜駅(6番乗場)/名鉄岐阜駅(1番乗場)より乗車(約15分)
「県美術館」下車徒歩3分

GIFU PREFECTURAL LIBRARY
岐阜県図書館

〒500-8368 岐阜県岐阜市宇佐4-2-1
TEL:058-275-5111 FAX:058-275-5115
MAIL:library@library.pref.gifu.jp
http://www.library.pref.gifu.lg.jp

